



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、弊社で取り組んでおります様々な対策についてご紹介いたします。お客様並びに社員の感染防止と安全・安心のために適切で有効な対策を励行を徹底いたします。

ご利用時のお願い

- ①ご利用時は、お客様同士の感染予防のため、マスクを必ずご着用下さい。
- ②発熱や体調不良時は、乗車をご遠慮ください。
- ③社内での会話はなるべくご遠慮下さい。
- ④お話の際は、マスク着用の上、小声でお願いいたします。
- ⑤乗車の際(下車休憩後を含む)は手先等消毒をお願いいたします。
(バスに消毒スプレー設置)
- ⑥当面の間、車内での飲食についてはお控え頂けますよう。
- ⑦当面の間、お茶出しサービス・及びカラオケ利用禁止。



観光バスの車内空調について

①車内空調は、「外気導入モード」で前方と屋根上のエアコンから新鮮な空気を入れることにより、おおむね5分で車内の空気が入れ替わります。

②新型コロナウイルス対策として、外気導入モード換気を行います。
(プラズマ・イオン発生機)

自社観光バス車内換気能力(三菱ふそう)

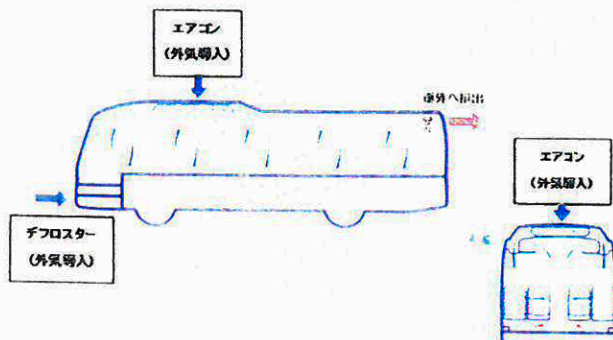
現行モデル(2017年)代表形式MS506 車内換気能力(停車時)5分
窓開けできる車両の割合90%

前モデル (2007年)代表形式MS96車内換気能力 (停車時)5分
窓開けできる車両の割合90%



・オゾン発生器：大型 3 台

・プラズマクラスター：中型 2 台/大型 3 台



乗務員の対応・対策

- ①出発点呼前の検温・血圧測定を実施し、さらに咳・発熱などの症状の発現がないか、健康状態の確認を行い、発現があった場合は速やかに乗務停止を指示。
- ②検温器・アルコールチェック機など点呼時使用機器の消毒の徹底。
- ③帰庫点呼時に再び、発熱・咳といった症状の発現がないか健康状態確認。
- ④正しい手指消毒・うがい手洗いをを行う

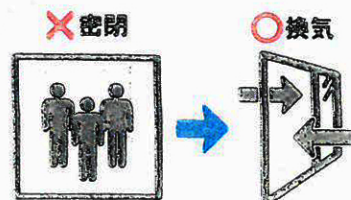
ための情報や3密回避や対策について周知するため社内掲示板を活用することで教示しています
⑤乗務員の飛沫対策(マスク・手指消毒)とお客様へのご理解とご協力を依頼するご案内を徹底するよう指示しています。

⑥休憩や待機時には可能な限りドアや窓を開けて換気

⑦お客様が触れる部分を中心に、車内の消毒実施

⑧お客様の体温測定・住所等の記入のお願い。

(個人情報管理あつかいには、十分注意・徹底すること)



その他、日本バス協会「感染予防対策ガイドライン」に沿って実行しています